

大地と海に育まれた「縄文文化」を知る！

なぜ縄文文化が注目されているの？

人間の歴史の中では、人類は農耕を始めたために定住するようになったと考えられてきました。しかし、日本列島で1万年もの間続いた縄文文化では、農耕ではなく狩猟採集という暮らし方を基本にしながら、定住生活ができていました。何世代にもわたり同じ場所で暮らすようになったことで、集団としての意識が生まれ、お墓やストーンサークルなど社会的な意味のある施設が作られるようになり、漆器や木製品を作る技術も発達したと考えられます。

また、1万年の間には、寒冷化や温暖化によって動植物の種類が変化しましたが、縄文時代の人々はその変化も巧みに利用し、自然環境を破壊することなく生活をしていました。これは世界的に見ても稀な例なのです。

「北海道と北東北の縄文遺跡群」は、環境に負荷をかけず、同じ場所で長期間、豊かな文化を維持していた縄文文化の証として研究が続けられ、世界の注目を集めています。



北黄金貝塚 (伊達市)

〈見どころ〉

北黄金貝塚情報センター・竪穴住居(復元)・貝塚・水場遺構

広々とした史跡公園内に、貝塚や住居が復元されています。水場遺構には無数の石皿やすり石があり、人々が何世代にもわたって儀礼を続けていたことを物語っています。縄文時代の森を再現しようという「縄文の森」もユニーク！情報センターでは貝塚の中身や骨製品も展示されています。



入江・高砂貝塚 (洞爺湖町)

〈見どころ〉

入江・高砂貝塚館、高砂貝塚、入江貝塚公園の貝塚トンネル

「入江・高砂貝塚館」は、入江貝塚と高砂貝塚の出土品を展示しています。高砂貝塚は約4000年前から近世にかけての暮らしの跡が残された遺跡で、散策を楽しめます。入江貝塚公園では、1663年の有珠山噴火の噴出物で覆われたために良い状態で残された貝塚の断面をトンネルの中で見られます。

ジオパークは、地球の活動を示す大地の見どころだけでなく、その地域の考古学的・生態学的もしくは文化的な価値のあるサイトも見どころに含めることが定義されています。洞爺湖有珠山ジオパークは地域の歴史を物語る「縄文遺跡」も大切な見どころとして紹介しています。

